



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月13日

上場会社名 K O Z Oホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9973 URL <https://kozohd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 将典
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 毛利 謙久 TEL 03-4586-1122
半期報告書提出予定日 2025年8月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	9,273	9.0	△133	-	△127	-	△170	-
2024年12月期中間期	8,504	89.9	△183	-	△169	-	△194	-

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 △193百万円 (-%) 2024年12月期中間期 △205百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△0.70	-
2024年12月期中間期	△0.90	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期中間期	5,153	442	8.1	1.54
2024年12月期	6,000	129	1.8	0.44

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 415百万円 2024年12月期 105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年12月期	-	0.00	-	-	-
2025年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	11.5	22	-	27	-	△38	-	△0.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社
(社名) ー

除外 ー社
(社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期中間期	269,621,440株	2024年12月期	239,821,340株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	6,866株	2024年12月期	6,866株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年12月期中間期	244,059,025株	2024年12月期中間期	216,495,296株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点における経営環境において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年1月1日～2025年6月30日)におけるわが国経済は、国内経済は引き続き回復基調にあり、個人消費の側面からは、春以降の雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大により緩やかに持ち直しが図られました。企業活動においては、設備投資意欲の堅調さが維持される一方で、エネルギー価格や物流コストの高止まりが収益圧迫要因となり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下において、当社グループは「小売事業」「飲食事業」「流通事業」の3本柱を事業の軸として、「多様な食を、多様な形で、多様な顧客へ」という基本方針のもと、事業間のクロスオーバーによる付加価値の創出、海外市場への事業展開、新規店舗開発及び、前連結会計年度に決定しました不採算店舗の閉鎖による各事業の収益性改善と事業効率化を推進してまいりました。

以下に、各事業の主な取組み内容と成果を記載いたします。

なお、当中間連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を変更しており、前年同中間期の数値を変更後の配賦基準に組み替えた数値で比較分析しております。

[小売事業]

中核企業である株式会社小僧寿し(以下「小僧寿し」といいます。)では、収益性が減退した店舗の撤退を進める一方で、地方圏へのドミナント出店や、スーパーマーケット・小売販売店へのインストア出店を進め、採算性の低い店舗の撤退と並行した新たな収益店舗を開発する「リプレイス出店戦略」を推進しております。当該戦略の一環として、小僧寿しでは2024年11月に西日本を中心に展開するFC加盟店19店舗の事業を譲受け、直営事業を拡充いたしました。このため、前年同期と比較し売上高が増加しておりますが、一方で、2024年7月1日に実施を致しました当社の持株会社化による、グループのコスト配分の調整を行った結果、小売事業の当該コストが増加しております。この結果、当中間連結会計期間における売上高は22億44百万円(前年同期 4.0%増)、セグメント損失は44百万円(前年同期は27百万円のセグメント損失)となりました。

[飲食事業]

中核企業であるアスラポート株式会社(以下「アスラポート」といいます。)では、ゴーストレストランによるデリバリー販売を縮小し、収益性及びオペレーション効率を重視した運営方針へと転換を図っております。一方で、メキシカン・ファストフード「TacoBell」を展開する株式会社TBJ(以下「TBJ」といいます。)では、昨年より再開した出店戦略並びにマーケティング戦略が奏功しており、前年同期と比較し増収・増益となっております。この結果、当中間連結会計期間における売上高は30億16百万円(前年同期比 28.5%増)、セグメント損失は26百万円(前年同期は61百万円のセグメント損失)と、大幅な損失圧縮を果たしております。

[流通事業]

中核企業である東洋商事株式会社(以下「東洋商事」といいます。)では、食材卸売事業の強化を目的に、一般貨物自動車運送業の認可取得及び、配送体制の拡充を行い、物流インフラの整備を進めました。

株式会社デリズ(以下「デリズ」といいます。)では、フード・デリバリー業界の競争激化に伴い、収益性の減退した店舗の閉鎖を完了し、また新規事業として、SaaS型プラットフォーム「D e l i x (呼称:デリックス)」を核とした新サービスの提供を開始し、2025年6月末の段階において、100アカウント超の導入に至っております。

上記の取組みのほか、デリズによる不採算店の閉鎖実施及び、中核企業である東洋商事において、原材料価格の高騰の影響が収益性を圧迫したこと等により、売上高は47億78百万円(前年同期比 4.9%減)、セグメント損失は45百万円(前年同期は54百万円のセグメント損失)となりました。

[海外事業]

当社は2024年5月度に、北米におけるテイクアウト寿司業態「SUSHI BOY」を展開する、SUSHI BOY, INC. 及びその親会社であるASRAPPORT DINING USA, INC. を連結子会社化し、また同年6月には、英国においてJapan Centre Group Limited(以下「JCG」といいます。)及び、Kozosushi UK Limitedとの三者間による資本業務提携契約を締結することで、持分法適用会社としております。これにより、欧州・英国を拠点とした当社ブランドの海外展開が本格化しており、この取り組みの一環として、2025年6月には、英国において日本食・日本文化の発信拠点として複数の事業を展開するJCGがロンドン・ウェストエンドに展開する旗艦スーパーマーケット「Japan Centre」及び、ロンドン・ウェストフィールドに展開するヨーロッパ最大級の日本食フードホール「Ichiba」において、持ち帰り寿司「小僧寿し」を展開するためのフランチャイズ契約を締結し、両施設において販売を開始致しました。

当中間連結会計期間の資産合計は51億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億58百万円の減少となりました。主な要因としては、流通事業において、前連結会計年度末時点の仕入債務の支払いが2025年1月度の支出となったことから、同仕入債務と同等額の現預金が滞留したことによるものです。

当中間連結会計期間における業績ハイライトは下記となります。

[業績ハイライト]

① 当中間連結会計期間における連結業績

[項目]	[業績]	[前年同期比較]
売上高	92億73百万円	前年同期比 9.0% 増加
営業損益	△133百万円	前年同期は △183百万円
経常損益	△127百万円	前年同期は △169百万円
親会社株主に帰属する中間純損益	△170百万円	前年同期は △194百万円

経常利益に関しましては、海外事業会社に対する債権債務において、2025年12月期第1四半期連結会計期間において、為替差益32百万円を計上しておりましたが、米ドルに対する為替レートが円高に移行したために、当該為替差益の一部を取り崩し、当中間連結会計期間においては10百万円の為替差益を計上しました。また、当中間連結会計期間における店舗閉鎖の費用として、店舗閉鎖損失を特別損失として20百万円計上しております。

② 当中間連結会計期間におけるセグメント別業績

[事業セグメント]	[売上高]		[セグメント損益]		[店舗・拠点数]	
	実績	前年同期比	実績	前年同期	実績	前年同期比
小売事業	22億44百万円	4.0% 増加	△44百万円	△27百万円	162店舗	2店舗増
飲食事業	30億16百万円	28.5% 増加	△26百万円	△61百万円	276店舗	3店舗減少
流通事業	47億78百万円	4.9% 減少	△45百万円	△54百万円	84拠点	7拠点減少
(調整額)	△7億65百万円	—	△16百万円	△41百万円	—	—

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間の資産合計は51億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億46百万円の減少となりました。主な要因としては、流通事業において、前連結会計年度末時点の仕入債務の支払いが2025年1月度の支出となったことから、同仕入債務と同等額の現預金が滞留したことによるものです。

負債合計は47億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億59百万円の減少となりました。主な要因としては、買掛金が8億41百万円減少したこと及び長期借入金が2億3百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、第15回新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が増加したこと等で4億30百万円となり、3億円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想は、2025年3月26日開示の「2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」記載の連結業績予想から変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,378	670,249
受取手形及び売掛金	1,426,258	1,186,263
商品及び製品	565,206	477,341
仕掛品	20,199	12,939
原材料及び貯蔵品	70,419	45,487
短期貸付金	124,134	114,480
その他	304,878	317,170
貸倒引当金	△144,037	△136,291
流動資産合計	3,492,437	2,687,640
固定資産		
有形固定資産	902,238	904,633
無形固定資産		
ソフトウェア	1,935	9,829
のれん	615,570	576,505
その他	5,303	5,462
無形固定資産合計	622,809	591,797
投資その他の資産		
投資有価証券	16,010	16,010
敷金及び保証金	813,733	798,278
破産債権等に準ずる債権	257,578	255,821
長期貸付金	93,600	92,096
繰延税金資産	1,607	1,607
その他	216,512	217,639
貸倒引当金	△416,864	△412,441
投資その他の資産合計	982,177	969,012
固定資産合計	2,507,225	2,465,443
繰延資産	641	641
資産合計	6,000,304	5,153,725

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,286,036	1,444,478
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	204,788	217,114
1年内償還予定の社債	—	50,000
未払金	732,139	670,058
契約負債	39,009	21,120
未払法人税等	50,485	24,129
未払消費税等	100,562	123,791
賞与引当金	12,813	20,265
店舗閉鎖損失引当金	37,576	12,424
その他	525,041	449,985
流動負債合計	3,988,553	3,033,469
固定負債		
長期借入金	820,671	655,440
リース債務	81,400	68,877
資産除去債務	573,867	554,526
その他	406,200	398,850
固定負債合計	1,882,140	1,677,694
負債合計	5,870,693	4,711,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,218	664,959
資本剰余金	861,522	1,113,263
利益剰余金	△1,132,791	△1,303,409
自己株式	△7,435	△7,435
株主資本合計	134,513	467,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	316
為替換算調整勘定	△29,529	△52,301
その他の包括利益累計額合計	△29,212	△51,985
新株予約権	699	3,649
非支配株主持分	23,610	23,519
純資産合計	129,610	442,561
負債純資産合計	6,000,304	5,153,725

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,504,134	9,273,547
売上原価	5,362,739	5,535,019
売上総利益	3,141,395	3,738,527
販売費及び一般管理費	3,325,136	3,872,203
営業損失(△)	△183,740	△133,676
営業外収益		
受取利息	6,615	3,889
為替差益	11,282	10,003
その他	15,868	11,202
営業外収益合計	33,767	25,095
営業外費用		
支払利息	13,544	12,232
支払手数料	—	2,500
その他	6,224	3,697
営業外費用合計	19,768	18,430
経常損失(△)	△169,742	△127,010
特別利益		
その他	1,248	—
特別利益合計	1,248	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	3,124	20,096
特別損失合計	3,124	20,096
税金等調整前中間純損失(△)	△171,617	△147,106
法人税、住民税及び事業税	20,725	24,016
法人税等調整額	1,728	△414
法人税等合計	22,453	23,602
中間純損失(△)	△194,071	△170,709
非支配株主に帰属する中間純利益又は中間純損失 (△)	△4	91
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△194,066	△170,617

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純損失(△)	△194,071	△170,709
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,833	△22,771
その他有価証券評価差額金	△944	-
その他の包括利益合計	△11,777	△22,771
中間包括利益	△205,848	△193,480
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△205,844	△193,389
非支配株主に係る中間包括利益	△4	△91

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△171,617	△147,106
減価償却費	34,694	40,944
のれん償却額	22,197	37,388
固定資産除却損	65	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,947	△12,170
受取利息及び受取配当金	△6,617	△3,891
支払利息	9,044	12,232
売上債権の増減額(△は増加)	63,482	241,752
棚卸資産の増減額(△は増加)	120,395	120,057
仕入債務の増減額(△は減少)	△348,368	△841,558
未払金の増減額(△は減少)	△90,603	△123,076
その他の流動資産の増減額(△は増加)	91,179	△11,597
その他の流動負債の増減額(△は減少)	43,378	△8,794
その他の固定負債の増減額(△は減少)	81,871	△4,265
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△25,152
その他	△60,666	△57,234
小計	△205,615	△782,472
利息及び配当金の受取額	2,756	3,196
利息の支払額	△5,475	△12,039
法人税等の支払額	△62,597	△56,746
法人税等の還付額	15,403	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△255,528	△848,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△159,268	△17,897
無形固定資産の取得による支出	△2,106	△8,137
投資有価証券の取得による支出	△19	—
投資有価証券の売却による収入	10,116	—
敷金及び保証金の差入による支出	△31,526	△3,323
敷金及び保証金の回収による収入	20,904	28,087
貸付けによる支出	△70,139	—
貸付金の回収による収入	53,948	1,631
預り保証金の返還による支出	△13,617	△10,020
預り保証金の受入による収入	1,854	3,024
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	4,275	—
その他	△192	△769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,771	△7,404

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	27,002	—
社債の発行による収入	—	150,000
社債の償還による支出	—	△100,000
長期借入金の返済による支出	△111,527	△174,684
長期借入れによる収入	20,000	21,932
リース債務の返済による支出	△18,141	△18,242
新株予約権の発行による収入	—	5,930
株式の発行による収入	477,208	500,501
その他	5,100	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	399,641	385,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,074	14,900
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△36,584	△455,128
現金及び現金同等物の期首残高	995,241	1,123,378
現金及び現金同等物の中間期末残高	958,657	668,249

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の行使により、発行済株式総数が29,800,100株、資本金が251,740千円、資本準備金が251,740千円それぞれ増加しております。

(セグメント情報等の注記)

[セグメント情報]

I 前中間連結会計期間(自2024年1月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	小売事業	飲食事業	流通事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,966,022	2,346,611	4,191,501	8,504,134	—	8,504,134
セグメント間の内部 売上高又は振替高	192,747	—	835,242	1,027,990	△1,027,990	—
計	2,158,770	2,346,611	5,026,743	9,532,124	△1,027,990	8,504,134
セグメント損失(△)	△27,137	△61,094	△54,359	△142,591	△41,149	△183,740

(注) 1. セグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの資産に関する情報

セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため、記載しておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食事業」セグメントにおいて、ASRAPORT DINING USA, INC. 及びSUSHI BOY, INC. を子会社化したことにより、当中間連結会計期間において、303,820千円のものれんが発生しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年1月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	小売事業	飲食事業	流通事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,108,917	3,016,228	4,136,315	9,261,460	12,086	9,273,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	136,078	-	641,840	777,919	△777,919	-
計	2,244,996	3,016,228	4,778,155	10,039,380	△765,833	9,273,547
セグメント損失(△)	△44,519	△26,831	△45,583	△116,934	△16,742	△133,676

(注) 1. セグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を変更しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の配布基準に基づいて作成しております。

3. 報告セグメントの資産に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(行使価額修正条項付第15回新株予約権の大量行使について)

2025年7月1日に、第15回新株予約権249,999個の行使があり、これにより、発行済株式総数 24,999,900株、資本金263,748千円、資本準備金263,748千円がそれぞれ増加致しました。